

を拡張していくとともに、このような観測間および観測とモデル間の連携を深めていくことで、地球大気環境の上端部であり、地球大気と宇宙空間の遷移領域である中間圏界面領域の謎解きが急展開するものと期待させてくれた。開催者の立場で言うのも変であるが、今回のシンポジウムは中間圏界面領域の力学研究の世界的な大物が予想以上に結集したという感があり、招待講演の時間を十分取ったことも手伝って内容も聞きごたえ、見ごたえのあるものが多かった。本稿の執筆にご協力頂いた皆さんを始め、多くの若手研究者や大学院生が参加し、発表し、またこれらの講演に傾聴したことは、大変よい刺激になったのではないかと察する。今回参加した院生の諸君の中から将来の中層大気科学を支える研究者が多く生まれることを期待する。最後になったが、本シンポジウムの開催に際しては、SCOSTEP (太陽地球間物理学委員会)、ICMA (国際中層大気科学委員会)、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本気象学会、郵政省通信総合研究所との共催としてご協力をいただいた他、電気通信普及財団、鹿島学術振興財団、井上科学振興財団の各財団より助成を受けたのでこの場を借りて関係諸機関にお礼を申し上げます。(津田敏隆, 中村卓司)

略語一覧

- DYSMER : Dynamics and Structure of MEsopause Region (中間圏界面領域の大気構造と力学過程)  
 GSWM : Global Scale Wave Model (地球規模波動モデル)  
 HRDI : High Resolution Doppler Imager (高分解能ドップラー干渉計)  
 PMSE : Polar Mesospheric Summer Echo (極域中間圏夏季エコー)  
 PSMOS : Planetary Scale Mesopause Observing System (中間圏界面国際協同観測システム)  
 QBO : Quasi Biennial Oscillation (準2年周期振動)  
 STEP : Solar Terrestrial Energy Program (太陽地球系エネルギー国際共同研究計画)  
 TIME : Thermosphere-Ionosphere-Mesosphere-Electrodynamics (熱圏-電離圏-中間圏-電磁力学)  
 UARS : Upper Atmosphere Research Sattelite (高層大気観測衛星)  
 WINDII : WIND Imaging Interferometer (風速イメージング干渉計)



とうきゅう環境浄化財団の研究助成募集

1. 研究対象者：

学識経験者の方はもちろん、一般の方でも研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

2. 研究対象テーマ：

- (1) 産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
- (2) 排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
- (3) 多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究

(4) 多摩川をめぐる自然環境の保全、回復に関する調査、試験研究

3. 公募締切日：1999年1月18日

応募についての詳細は、下記財団事務局へお問い合わせ下さい。

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1丁目16番14号

渋谷地下鉄ビル

財団法人 とうきゅう環境浄化財団

Tel. : 03-3400-9142

Fax. : 03-3400-9141